

論文

早濶川・老馬谷ガーデンプロジェクトの 効果と課題

飯島 健太郎

2017年4月、早濶川沿いの幅8m、長さ180mの長大な空き地が、地域の方々が集う緑地として誕生した。「早濶川・老馬谷ガーデン」と命名された本緑地は、都市緑化よこはまフェア・18区連携事業・都筑区花いっぱい運動などの事業を中核として実現したものであり、市有地を活用した本緑化プロジェクトのために行政上の手続きを区が調整し、区政推進課、地域のNPOとともに東京都市大学の学生が連携して、緑化活動、イベント、維持管理などを継続している。その効果と課題について議論したい。

キーワード：老馬谷ガーデン、都市緑化フェア、都筑区、まちづくり

1 はじめに

2017年4月、早濶川沿いの幅8m、長さ180mの長大な空き地が、地域の方々が集う緑地として誕生した。都市緑化よこはまフェア・18区連携事業、都筑区花いっぱい運動などの事業を中核として実施された。まちづくりに関わる官民学の10年にも及ぶ検討と構想を礎としている。この緑地は、造成期間中に「早濶川・老馬谷ガーデン」と命名された。

本報では、緑地誕生後の植栽デザイン、イベント企画、そして維持管理の効果と課題とともに、まちのにぎわいと魅力アップ、防犯、健康、環境対策をその役割として掲げ普及していくことへの課題について議論したい。

2 早濶川・老馬谷ガーデンプロジェクトの概要

2017年3月から開催される「第33回全国都市緑化よこはまフェア」、18区連携事業・都筑区対応の一環として、中川3丁目早濶川沿いの市有地（写真1）に、市民（事務局NPO法人ぐるっと緑道）、都筑区役所と東京都市大学が協力し、2017年4月の完成を目標に緑地を作るプロジェクトが始動した。区政推進課は本プロジェクトの具現化のため対象地である市の道路用地を借り上げるための手続きを初めとして行政上の手続きを推進した。市民が楽しみ、そして将来にわたって大切にしてもらうべく、NPOぐるっと緑道が、地域への本プロジェクトの広報、イベント企画を推進している。東京都市大学は、都筑区との包括協定を背景として、本プロジェクトの覚書を交わすことにより具体の活動を開始

した。同大学飯島研究室による緑化構想、計画を基に学生を募り、環境学部の2年生、1年生（後に都市緑化研究会／有志団体から大学の公認団体へ）がこのプロジェクトの参加に手を挙げた（写真2）。また桐蔭横浜大学の環境向上委員会の学生も加わった。そして対象地の地盤造成作業、緑化植栽作業、イベント運営など、維持管



写真1 ガーデンの創生対象地となった市有地



写真2 ガーデン活動への参画に手を挙げた学生ら

理作業から地域交流のスタッフとして学生らは積極的に取り組んでいる。

開園後も、常に 3 者が協力して維持管理、企画運営に尽力している。

3 対象地の造成から緑地化構想、そして植栽

都市緑化よこはまフェアという祭典にふさわしい花と緑の彩り・香りの演出を伴う散策園路とともに、その後も地域の集い・賑わい、防犯、防災、環境学習の場として役割を果たすような空間を目指して議論を深めた。

1) 全体構想

180 m にも及ぶ長大な帯状の空間に花もの、クローバー、香りのツル植物で覆い、鍛冶橋口から不動尊口方面まで散策路で結ばれる。中川の住宅地側からは中央口があり花壇に降りて対象地に入ることができる。中央口からは全体の景観を見通すことができる。中央から鍛冶橋口方面は、「彩りと都市緑化エリア」として彩りのある園芸植物を中心に展開、春の花景観はナノハナ、ネモフィラ、ポピーとした。ハーブコーナーもある。中央口から不動尊口方面は、「生態的空間と歴史エリア」として、野草や和物の中低木も導入している。春の花景観としてはナノハナとしている。実のなるコーナーもある。また道路境界の単管を活用し、ツル植物によって季節の香りの演出を図ることとした。こうした植栽プランによって、歩いて楽しい、花や香りで季節を感じ、収穫も出来るようにし、地域の方々が関わり楽しみや健康を得ることのできるデザインを試みた。

一方、ここに緑地がある防災的意義にも言及したい。付近は洪水の警報が発令されることもある地域である。住宅地、道路に降った雨はそのほとんどが河川に流れ込むのであるから谷戸地に存在する早淵川周辺もそうしたリスクがある。先に述べた対象地はこれまで雑草の繁茂が著しい空き地であった。ここが雑草対策のために簡易アスファルト舗装されてしまわなかったことは重要であり、今後、管理された緑地として長大な流出雨水浸透面となることはグリーンインフラの一つとして当該敷地は重要な意味を持っている。

4 ガーデンの開園に向けた活動

前報 1) にて紹介したとおり、都市緑化よこはまフェアの開催期日に合わせて、この緑地を一定の完成状態に導くため、学生のアイデアによる個別の演出のみならず、全体としての景観づくりに行政、地域、大学とともに検討を重ねて対応した。何より企画段階から現地の基盤造成、そして翌春の開花状態を実現するには、あまりに時間が無さ過ぎた。しかし可能な限り、4 月以降の開

花リレーを想定して整備を行った。

1) 植栽計画

春先から 5 月にかけて、チューリップ、ナノハナ、ネモフィラ、ヒナゲシと咲き変わるようにするためには、10 月中には播種を開始したかったが、本格的な植栽準備は 11 月からとなった。帯状の空間に展開する花景観の演出のため球根の植え付けや播種は、やや遅いながらも 11 月に地域イベントとして実施した。

2) ガーデンでのイベント活動の開始

ガーデンの持続的な利用の促進とともに維持管理作業の手を確保するためにも地域のファンを集めることが課題であった。そこで、いくつかのイベント活動を実施していくこととした。

2016 年 11 月 13 日（日）10:00 から、「早淵川沿いに市民参加で作っている早淵川・老馬谷ガーデンの種まき、花植えプロジェクト」としてイベント活動が開催された（写真 3）。参加者はガーデンに近い中川 3 丁目、荏田町の方が多く 51 名、主催者側を入れると 75 名の盛大なイベントになった。区長や議員も地域の方々とともに活動された。この日、江田小学校等の子供の参加も多く、「土に触れて楽しかった」「成長が楽しみ」などの意見も寄せられた。参加者アンケートでは、今後も手入れなどに参加したいという回答があった。

その後も、第 1 土曜日 10:00～12:00、第 3 水曜日 13:00～15:00 を基本に、区役所職員、地域、学生とともに花植え、除草、石ころ除去などの地域活動を行った。花の種子は遅播きのためシートをかけるなど（写真 4）、オープンに向けて手厚く養生した。なおも現場の園路の見切り材の設置（写真 5）、丸太のベンチの設置（写真 6）など現場の整備は続いた。

3) ガーデンの広報

3 月 22～23 日、地域恒例のセンター北まつりにお



写真 3 種まきイベント



写真4 発芽後の保護のためのシートかけ



写真5 園路の見切り材の設置



写真6 丸太ベンチの設置



写真7 センター北まつにおける広報活動



写真8 ガーデンのマスコット・カップパのトピアリー

早濶川・老馬谷ガーデン(HRG)プロジェクトを実施しています！

【概要】

よこはまフェアの開催を契機に、「都筑区 花いっぱい運動」を盛り上げていくための取組の一環として、**地域・東京都市大学・都筑区役所が連携し**、早濶川沿いの市有地を緑化するプロジェクトを展開しています。

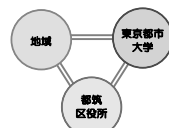
【経緯】

当該地はもともと横浜市所有の未利用地であり、平成15～17年度に「つづき水と緑の魅力アップ推進委員会(※)」によって作成された基本計画では、早濶川の『西の拠点』としての活用を検討されていた関心の高い土地でした。

※ 平成14年5月「都筑区まちづくりプラン(都市計画マスタープラン・都筑区プラン)」の策定を機に市民からより親しみをもってもらえるような水と緑の環境を整備するために、区が市民参加により立ち上げた委員会。平成18年度末で発展的に解消。

そこで、よこはまフェアが開催されることをきっかけに、地域のまちづくりに関心のある皆様、都市緑化を研究されている東京都市大学の飯島健太郎教授・学生の皆様と連携して、地域の新たな緑の拠点・魅力あふれるスポットにするためのプロジェクトが始まりました。

平成28年5月に開港場で植栽を始め、10月頃から基礎整備を行い、花植えイベントや定例作業、地域のお祭り等で仲間を増やしなが、春には花いっぱいの場所になることを目指してガーデンづくりに取り組んでいます。



【ガーデンを維持していく仲間を募集中です！】

毎月2回の定例作業はどなたでもご参加いただけます。ご興味のある方は、汚れてもよい服装で、ぜひ定例作業日にお集まりください！

●活動場所・・・都筑区早濶川沿い「鍛冶橋」付近(市営地下鉄「中川駅」より徒歩約15分)

●定例作業日・・・毎月 第1土曜日 10時～12時、第3水曜日 13時～15時

※時期や作業状況によって、お休みすることがあります。



▲▲▲ 活動の様子 ▲▲▲

【ホームページURL】

これまでの取組経過やイベント情報などは、ホームページでご案内しています。

◎都筑区役所 HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/tamaki/kuze/rikaku/hayabuchi-garden-roboto-garden-project.html>

◎ぐるっと緑道 HP <http://guruttoryokudo.jp/localgroups/hrg>



HRGプロジェクト 検索

【都筑区役所】<ぐるっと緑道>

図1 プロジェクトの紹介パンフ

いて、本プロジェクトの紹介ブースが配置され広報した(写真7, 8)。都市緑化よこはまフェアの案内、本プロジェクトの紹介(図1)、地域との花植えイベントの紹介チラシなどの配布を行った。希望者に都市緑化よこはまフェアの記念グッズや苗配布も行ない、都市大の学生がそのスタッフとして尽力した。3月25日には地域のお花見ウォークのコースとしてガーデンが設定され紹介された。またオープンイベントとして、「180メートルの帯状の緑地で地域みんなで恋ダンスを踊ろう」の

企画に伴い、ガーデンでの練習（写真9）とともに、3月17～18日市民の子どもたちが運営するミニヨコハマシティにおいて、学生によってガーデンの紹介と恋ダンスのレッスン会も開催した（写真10）。この頃に、ガーデンのTシャツも作製された。

4) オープンイベント

ガーデンは、都市緑化よこはまフェアのオープンより若干遅れて、4月1日のオープンとなった。残念ながら



写真9 オープンイベントに向け恋ダンスの練習



写真10 ガーデン広報と恋ダンスのレッスンイベント



写真11 オープンイベントにおけるテープカット

この時に、チューリップやナノハナの開花は間に合わなかったが、ガーデンとしての輪郭とともに、各学生のアイデアによるゾーンの演出は各種グラウンドカバープラツの配植によりそれなりであった。

オープン式典には、都筑区長、町内会長、東京都市大学学部長もかけつけられテープカットを行った（写真11）。あいにくの雨模様であったが、その後、来場の地域の方々に学生が園内を案内した（写真12, 13）。なお雨天のため、園内巡り後に予定されていた、老馬谷ガーデンで恋ダンスを踊ろうイベントは中止となった。

5 ガーデンのオープンとその後

4月1日にオープンし、チェーン柵が取り払われ、地域の方々が自由に通行することができるようになった。散歩、ランニングなど地域の方の通行が認められる。そうした方々との挨拶も自然と生まれている。演出、維持管理、広報等の状況について列記したい。

1) 開花景観

4月中下旬から待望の花景観が実現した。とにかく帯状に長いこの空間にライン状に群開するチューリップ、そしてナノハナ、そして部分々にネモフィラがグラデ



写真12 地域の方とガーデン巡り



写真13 各エリアで学生が解説



写真 14 チューリップとナノハナに囲まれた園路



写真 15 ナノハナー色の園路



写真 16 コスモスの開花と丸太のベンチ

ーションを演出している（写真 14, 15）。数百メートル離れた高架を走る地下鉄ブルーラインの車窓からも視認できる花景観である。その後もポピー、セダム、その他、大小のコーナーで開花を見せ、通行される方の目を楽しませている。中川界隈の花と緑の見どころマップにも本ガーデンが加えられ紹介されている（図 2）。

春の花が一段落し、秋に向けて大規模な花景観を演出するべくコスモスを播種した。早めに開花景観を楽しめるよう早咲きコスモス・センセーション種を導入した。1週間ずつずらしながら1か月にわたり播種したこともあり、晩夏から秋まで長期間開花した（写真 16）。

2) 維持管理

本プロジェクトの肝は維持管理である。オープン前に基盤造成に尽力したものの、雑草の勢いは収まらず定例活動の大半は除草作業である。それもイネ科の根茎だら



写真 17 除草作業



写真 18 クズの巨大な根

けのもの、クズの巨大な根など、その除去にはかなりの労力を要し、なかなか終わりが見えない作業となっている（写真 17, 18）。

もう一つ重要なのが灌水である。現場には散水栓は無いので現場に貯水タンクを設置し、地域の方の厚意で定期的に給水をしてくださっている（写真 19, 20）。その水を活用させて頂き、地域の方や学生が散水作業を継続している。

3) イベントの開催と広報

地域の方々に喜んで利用してもらいつつ、一方でファンを増やし、維持管理や新たなガーデンデザインに参画してくれる方々を増やしたいという課題には、やはりイベントと広報が欠かせない。開園後、5月27日の地域の中川ふれあいフェスタにおいても、老馬谷ガーデン紹介ブースを設置し、ガーデンでのイベント案内（図 3）や維持管理のメンバーを募った。同時期に広報よこはまでも本ガーデンが紹介された（図 4）。また引き続きイベントを開催している。春の花が一段落する直前に花摘みイベントを開催した（写真 21, 22）。

また次年度の花景観の創生を目指し、種播きイベント

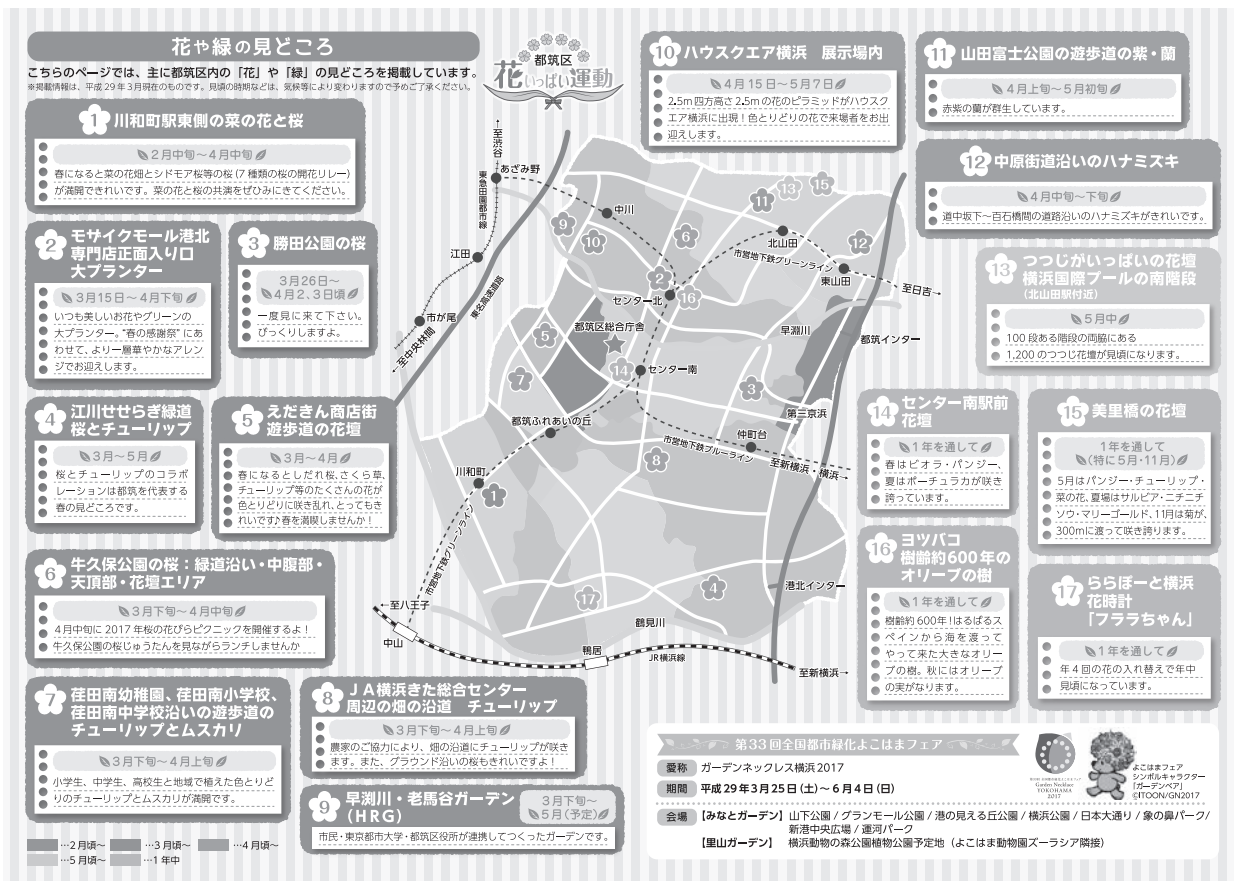


図2 中川界隈の花と緑の見どころマップ



図3 花摘みイベントのチラシ



図4 広報よこはまでも紹介

早濶川・老馬谷ガーデン 定例作業日程

**仲間
募集中!**

市民・NPO 法人ぐるっと緑道×東京都市大学×都筑区役所

～一緒にガーデンづくりを楽しませんか？
興味のある方は下記の定例作業日に汚れてもよい服装で現地にお越しください！～
(原則、第一土曜日、第三水曜日 午前 10 時～ ※月により異なる場合があります。)

※事前の申し込みは不要です。作業時間内に直接来ていただき、作業している人に声をかけください。
※雨天、荒天の場合は中止する場合があります。
※通常の作業は、草刈、剪定、雑草、植え替え等を行っています。

12月
2日(土) 午前 10 時～12 時
(作業+ミニ講座)

90 分程度手入れ作業を行った後、
・多肉植物ミニ講座 (東京都市大学新島教授)
・講座『植えっぱなしで毎年咲く、星のようなアイフェイオン(ハナニラ)でガーデンを修飾する』
(講師 沼野自然園 井上氏)
※実際に 1000 株のアイフェイオンを植え、HFG の魅力
スポットになります。
をおこなう予定です！

20日(水) 午前 10 時～12 時
平成 29 年最後の活動日。
ガーデン内大掃除?もします。

1月
17日(水) 午前 10 時～12 時
平成 30 年最初の活動日！今年もきれいなガーデンになりますように

2月
3日(土) 午前 10 時～12 時
21日(水) 午前 10 時～12 時



図 5 定例作業の案内と仲間募集



写真 21 花摘みイベント



写真 22 花摘みイベント後の記念撮影



写真 19 老馬谷ガーデンの生命線・給水タンクの設置



写真 20 地域の方が定期的に給水してくださっている



写真 23 有名園芸講師による球根植栽のレクチャー



写真 24 レクチャーに基づいてハナニラ球根植え付け

に加え、有名園芸講師による球根植栽のレクチャーと植付けイベントなども実施された（写真 23, 24）。イベントを通じて引き続き仲間を募っている（図 5）。

6 老馬谷ガーデンプロジェクトの開始から一年を振り返って

広大な敷地を緑地創生し、その維持管理やイベントの実施など、行政、地域、大学と手を組んで実施してきた。その活動の履歴を表 1 に示す。実に多くの活動を積み上げてきており、特に学生は理屈ではなく正に体感的に現場を理解し、その企画・運営・維持管理に取り組んだ。

10 月 7 日、プロジェクト 1 周年記念意見交換会が開催され、行政、地域の方々、大学生とが率直な意見を交わした（写真 25）。関係者の問題提起と今後の改善案については表 2 にまとめた。緑地のデザイン上の課題、管理運営上の課題に加え、利用者が少ないのではないかとといった課題があった。利用の促進と地域のファンの増員、そして維持管理の問題は三位一体であり、今後当地が継続的に緑地とするための大きな課題である。

なお本プロジェクトについては、2017 年 5 月に開催された日本芝草学会春季大会・グラウンドカバープランツ緑化部会研究集会において、行政、地域の代表より講話し議論した。また同年 11 月の産学の学術イベントである特殊緑化に関する研究者発表会（都市緑化機構主催）においても筆者により本プロジェクトを紹介した。いずれの議論においても会場からは、まずこの広大な面積を官民学の取り組みで維持していること自体が稀有であり、その動機と実行力に関心が集まった。

表 1 老馬谷ガーデンにおける活動歴

開催日	内容
H28.7.29	[学生自主活動] HRG をデザインするための現地視察
H28.8.8	[連携活動] 都筑区役所、NPO との HRG に関する会議
H28.8.16	[学生自主活動] HRG の全体コンセプト、敷地の分析手法、植栽デザインのアイデア等の共有

開催日	内容
H28.9.3	[地域イベント] HRG 用地のクリーン作戦実施
H28.9.21	[連携活動] HRG をデザインするためのミーティング
H28.10.15	[連携活動] 整地、雑草や根っこの除去作業
H28.10.22	[広報活動] 中川ふれあいフェスタで HRG プロジェクトの PR、 [学生自主活動] 園路作り、植栽の植え込み、整地
H28.10.26	[学生自主活動] ヒメツゲの運び込み、植え込み
H28.10.29	[連携活動] タケシマキリンソウ緑化ユニットの敷設、 [広報活動] 中川ふれあいフェスタで HRG プロジェクトの PR
H28.11.2	[学生自主活動] セダムやダイコンドラ等の植え付け、整地、雑草や根っこの除去作業
H28.11.5	[連携活動] 整地、雑草や根っこの除去作業、耕耘の際に出た石で園路作り
H28.11.9	[連携活動] 整地、雑草や根っこの除去作業、園路作り
H28.11.12	[連携活動] 種まき・花植えイベントの準備
H28.11.13	[地域イベント] 種まき・花植えイベント開催
H28.11.19	[連携活動] 入口付近の植栽植え込み、整地、雑草や根っこの除去作業、園路作り
H28.12.3	[連携活動] 花壇に草花、レモン、ブルーベリー等の収穫できる果実の植え付け作業
H28.12.7	[学生自主活動] ブラックベリー等の植え付け、個人エリア等の作業活動
H28.12.21	[連携活動] 入口にレンガアート制作、一年草のお手入れ
H28.12.28	[学生自主活動] 散水等の維持管理、個人エリア等の作業活動
H29.1.7	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.1.18	[連携活動] 寄贈されたジャスミンを植え、鉄パイプに誘引作業
H29.1.21	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.2.4	[連携活動] 500L の貯水タンクを設置し散水、曼珠沙華曼珠沙華をノースポールと一緒に植え込み作業
H29.2.8	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.2.11	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.2.14	[連携活動] 3t 貯水車とエンジンポンプにより散水作業
H29.2.18	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.2.22	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.2.25	[学生自主活動] 個人エリア等の作業活動
H29.3.4	[連携活動] 孟宗竹の青竹で園路作り、シロツメクサの種まき、散水、恋ダンスの練習
H29.3.9	[連携活動] 150 本のノースポールの植え付け作業
H29.3.15	[連携活動] オープンイベントに備えて、花壇の草取りと花殻摘み、貯水タンクに給水、恋ダンス練習
H29.3.22～23	[広報活動] センター北祭りにてブースを出展、PR 活動
H29.3.25	[連携活動] お花見ウォークに参加、HRG を歩きながら PR、恋ダンス練習
H29.3.31	[連携活動] オープンイベント前最終作業
H29.4.1	[地域イベント] オープンセレモニー、HRG 解説等、親睦会
H29.4.19	[連携活動] 草取り・花束作りイベント準備作業
H29.4.29	[地域イベント] 草取り・花束作りイベント
H29.5.6	[連携活動] 菜の花を抜きコスモス種まき、キリンソウユニットの草取り、シロツメクサ刈り取り作業
H29.5.17	[広報活動] FM ヨコハマライブ中継、コスモスの種まき作業
H29.5.27	[広報活動] ふれあいフェスタ中川にてブースを出展、PR 活動
H29.6.3	[連携活動] チューリップの球根掘り出し、ネモフィラ抜き取り、コスモス種まき等作業
H29.6.22	[連携活動] ブルーベリー、モッコウバラの苗木と夏の多年草植え付け作業
H29.7.2	[連携活動] ヒガンバナ、ポーチュラカ、宿根バーベナ等植え込み作業

開催日	内容
H29.7.8	[連携活動] 草刈機を用いてシロツメクサの刈り払い作業
H29.7.10	[連携活動] 草刈機を用いてシロツメクサの刈り払い作業
H29.7.11	[連携活動] 刈払ったシロツメクサ等をキリンソウユニットの下へすき込み作業
H29.8.5	[連携活動] 雑草取り、花壇のお手入れ作業
H29.9.2	[連携活動] 園路沿いの雑草取り、コスモスの剪定、セダムユニットの整理作業
H29.9.20	[連携活動] コスモスの剪定、雑草取り、防草シートの敷設作業
H29.10.7	[連携活動] 地域住民、区役所、NPOの方々と一緒に周年意見交換会、課題等検討
H29.10.18	[連携活動] ガザニアの園路見切り、コスモス抜き取り作業
H29.10.28	[広報活動] 中川ふれあいフェスタでHRGPR、多肉植物即売会、苔玉作りのワークショップ
H29.11.4	[連携活動] センターテラスの整地、園路を排水仕様に、薪割り、竹割作業
H29.11.17	[連携活動] 19日の種まき準備作業予定
H29.11.18	[連携活動] ガーデン芋煮交流会準備
H29.11.19	[地域イベント] 種まき、ガーデン芋煮交流会開催
H29.12.2	[地域イベント] HRGにて(株)河野自然園代表取締役井上様によるガーデニング講座兼園芸講習会



写真 25 意見交換の様子

表 2 主な問題点と改善案

対象	内容
入口のデザイン	両端が緑地の入り口であることが分かりにくい。植栽デザインとともに案内パネルなどを設置して、積極的に利用してもらうよう改善してはどうか。
園路関係の課題	園路が擁壁側に直線化しているのは面白くない。クローバー側にしたり、曲線化するなどのデザインもよいのではないかと。現在の園路が狭く、通行時すれ違える程度の幅は必要。今後、見切りの位置を改善し1.5m～2mに拡張する。園路の透水に問題があり、今後踏み固めるか、ウッドチップなどを敷き詰める。
クローバーエリア	エリア内は立ち入り禁止ではなく遊べるので、園路から入りやすくする必要がある。クローバー以外に丈夫なグラウンドカバープランツの植栽も検討したい。
長大な鉄パイプのフェンス	植栽したツル植物の生育がおもわしくない。土壌改良、施肥等による養生が必要。基本的には既に植栽されているハゴロモジャスミン、テイカカズラは生かしつつ、新たな種類も検討。フェンスの足元付近の雑草が旺盛であり、低木類で覆うことも検討。フェンスが醜いので、塗装または撤去も視野に検討したい。
長大な土留め用のキリンソウユニット	ユニット付近の雑草が旺盛であり、こまめな除草作業や防草シートの敷設などが必要。キリンソウは直植えしてはどうか。ユニットの擁壁側への移設。

対象	内容
長大な擁壁対策	とにかく殺風景。すでに試作されている多肉植物の壁面緑化基盤の本格的な設置、あるいはツル植物で覆うなどの方法はどうか。
センターテラス付近	透水性に問題があり、レンガを敷く、タタキをつくる、ハイブリッド芝を設置するなどを検討。
学生による各ゾーン植栽	日本庭園風、カバープランツ植栽、ビオトープ、壁面緑化など解説板を設置したほうがよい。また都市緑化研究会を明記してもよい。
除草後の対応	これまで除草後の残渣はビニール袋に封入し、大量に収集ゴミに出していた。環境対策モデルの一つとして、堆肥化を検討。強い根茎等への対応が課題。
年間計画の作成に向けて	諸々の事情があったが、春期の開花に向けた終期の播種、球根植栽のタイミングが適切ではなかった。季節の演出に関わる植栽年間計画を構築して、材料入手からイベント、維持管理の方策を検討する必要がある。そうしたデザインの合意形成のため集会も必要

7 おわりに

都市緑化よこはまフェアの期間中に華々しく演出された花景観は、プロジェクトの契機ではあるが着地点ではない。本プロジェクトから発信すべきことは、地域の緑地機能の重要性、すなわちグリーンインフラとしての環境改善、防災・減災に資するとともに、賑わい・活力による地域の魅力アップと防犯効果、緑地利用を契機とした地域住民の予防的健康の獲得など、未来都市の環境創生とライフスタイルを予兆する視点ではないかと考えている。こうしたことを地域の方々と共有し、それらの機能を維持するためにも緑地の管理運営に益々のご理解とご支援が必要である。

最後に、都筑区政推進課、NPO ぐるっと緑道のご支援ご協力で深甚の謝意を表するものである。

参考文献

- [1] 飯島健太郎・室田昌子・吉崎真司 (2017)：都筑区早刈川・老馬谷ガーデンプロジェクトとその役割、東京都市大学横浜キャンパス情報メディアジャーナル、第 18 号、pp.9-18
- [2] 日本芝草学会グラウンドカバープランツ緑化部会幹事会 (2017)：都市緑化よこはまフェア・18 区連携事業都筑区プロジェクトにみる官民学連携、芝草研究第 46 巻別 1 号、pp.90-93
- [3] 飯島健太郎 (2017)：官民学連携による緑地創生と管理運営／都筑区の早刈川・老馬谷ガーデンプロジェクトの事例、平成 29 年度特殊緑化に関する研究者発表会講演集、pp.5-14
- [4] 都筑区 (2016)：都筑区まちづくりプラン
- [5] 中川まちづくりプラン検討会 (2016)：中川まちづくりプランについて
- [6] NPO 法人ぐるっと緑道 (2016)：市民参加で「早刈川・老馬谷ガーデン」建設開始、ぐるっと緑道第 44 号

- [7] NPO 法人ぐるっと緑道 (2016) : 早濑川・老馬谷
ガーデン花植えに 75 人, ぐるっと緑道 第 45 号
- [8] NPO 法人ぐるっと緑道 (2017) : 早濑川・老馬谷
ガーデンづくり進む, ぐるっと緑道 第 46 号
- [9] NPO 法人ぐるっと緑道 (2017) : 早濑川・老馬谷
ガーデンづくり進む, ぐるっと緑道 第 47 号
- [10] NPO 法人ぐるっと緑道 (2017) : 早濑川・老馬谷
ガーデンづくり進む, ぐるっと緑道 第 48 号